

## 平成28年度 第1回 東春近地域協議会会議録

開催日	平成28年5月17日(火)						
開催時間	開会	午後7時			閉会	午後7時40分	
開催場所	東春近公民館(春近郷ふれ愛館) 講義室						
委員の出欠 出席 21名 欠席 1名		委員氏名				委員氏名	
	1	伊藤 泰雄	出	12	伊東 一樹	出	
	2	飯島 光豊	出	13	横田 美男	出	
	3	宮島 良夫	出	14	酒井 知壽	出	
	4	飯島 隆男	出	15	野溝 和人	出	
	5	竹松 武登	出	16	三澤 洋子	出	
	6	飯島 誠一	出	17	小笠原恵子	出	
	7	濱島 勉	出	18	吉田 浩	欠	
	8	赤羽 利司	出	19	伊東 麻紀	出	
	9	酒井 利晴	出	20	浦野 三男	出	
	10	阿部 忠雄	出	21	熊谷みさ子	出	
	11	小池 貞志	出	22	寺山 日幸	出	
署名委員	飯島 隆男			竹松 武登			
条例第10条の規定 により出席した者	なし						
市側の 出席者	副市長 林 俊宏						
出席した 事務局職員	東春近支所長 篠田 貞行						
協議事項	1. 協議事項 (1) 協働のまちづくり交付金について (2) 今後の日程について (3) その他						
配布資料	委員名簿、東春近地域協議会規約、東春近地区協議会規約、同協議会理事名簿、伊那市地域自治区条例、協働のまちづくり交付金関係資料、協働のまちづくり交付金申請書						

## ■概要

- 1 開会 支所長進行（正副会長未定のため）
- 2 委嘱書交付 副市長が委員全員に手交
- 3 あいさつ 副市長  
（地域協議会制度の見直しを中心にあいさつ）
- 4 自己紹介

### 5 正副会長選任について

選任に先立ち、事務局から地域協議会（資料1）について説明。

その後、選任方法について意見を求めた。

複数の委員から「事務局から」との意見が出され、事務局からこれまでの慣例（会長は区長会長、副会長は財産区議長）を説明した。

慣例に沿って選任することです承されたことから、会長に飯島誠一委員（区長会長）、副会長に酒井知壽委員（財産区議長）が選出された。

（正副会長あいさつ）

（以下、飯島会長の進行）

### 6 会議録署名人の指定について

会長 協議会規約第10条第3項の規定に基づいて、私から会議録署名人を指名します。委員名簿をご覧ください。

4番、車屋区長飯島隆男さん、5番、中組区長竹松武登さんをそれぞれ指名いたします。

### 7 協議事項

#### (1) 協働のまちづくり交付金について

会長 これより協議事項に入ります。

初めに、協働のまちづくり交付金について事務局から説明をお願いします。

事務局 資料No.2をご覧ください。

最初に交付金の仕組みをご説明いたします。

今回の改正の一番大きな変更点は予算付けがされたということでございます。

一番上に掲げてありますとおり、地域の課題解決に向けた活動に対して経費を支援するというので、その下の一番右の図にあります地域自治組織あるいは地域づくり団体から、本日開催をさせていただいております図の左横の地域協議会に対して事業申請をし、それを地域協議会で決定をし、交付金が交付される仕組みになっており、図の下にありますように交付金の総額が1,500万円でそれを各協議会に均等割りと人口割で配分する仕組みであります。

次のページの交付金の活用事例をご覧ください。

向かって左側が、活用がOKの事例、右側がこうした活用はまずいというNGの事例です。特にNGの事例としては、地域づくりに結びつかない事業、政治・宗教・営利を目的とする事業、常に実施している地域のスポーツ大会あるいはその下にありますが、人件費や飲食こうしたものに充てることはできないということでもありますので、予めご承知願います。

次の3ページの活性化イメージ図、こうした活動に交付金が支払われるということで、真ん中に書かれているのが本日開催をいただいている地域協議会で、図の周辺を見ていただきますと、例えば下の方では、地域の見守り、買い物弱者支援ですとか、その左には交通弱者支援がございまして、こうした様々な活動に対しての交付金ということでイメージとしてご確認願います。

次の4ページ、先ほどの1,500万円の市全体の予算に対して、配分方法によって定まった配分額が記載されており、太めの枠で囲んだ東春近につきましては、均等割り100万円に更に人口割で49万6千円、合計で149万6千円が交付されますのでご承知願います。

5ページからこの交付金の交付要綱ということで細かな規定が記載されていますが、これは後ほどご確認願います。

続いて資料の3をご覧ください。具体的に東春近としてこういったところに交付金を充て行くのかということですが、最初が申請の一覧表でございまして、現時点で地区協議会から二つの事業について、手が上がって来ています。

最初の事業がふれ愛館開館20周年記念事業に充てるというもので、これは予めからグラウンド管理委員会等でもお話をさせていただいて、グラウンドの駐車場の舗装等を中心に整備をしていきたいというのですが、事業費等のところをご覧くださいとお礼補助金については体育施設については市から一定の補助があるということで、これに自己財

源を加え53万円になりますので、交付金としては92万円を充てて行きたいと言うものです。

その下の地区循環バス路線見直し事業、先般市から区長会に対して説明があったわけですが、今年から来年にかけて、富県東春近地区循環バスについて見直しをしていきたいというお話がございました。この事業に東春近として50万円を充てていきたいということで、合計で142万円ということで、若干市からの交付金に余りが生じるわけですが、現時点ではこんな形で申請が上がってきている状況ですのでご確認をいただきたいと思います。

おめくりいただいた2ページ、3ページが、ただ今申し上げた最初のふれ愛館開館20周年記念事業で申請の日付が本年4月1日でございますが、先ほど申し上げた内容で内訳等が記載されておりますので、3ページまでご確認をいただきたいと思います。

更におめくりいただいた4ページ、5ページが地区循環バスの見直し事業ということで、特に5ページの方に、事業の詳細がございますが、一番は地区循環バス路線の見直しというわけでありますので、事業概要のところの上から三つめ、先駆的である理由というところですが、現在富県地区を経由して循環しているバス、先般区長会の折にもご意見等が出た訳ですが、出来れば東春近地区だけを直接市街地と結ぶそういった路線の試験運行をして効果を確認していきたいという考えでございます、周知期間をおいてこの秋から半年間便の運行をしていったらどうかというもので、これに要する経費がアンケートを含めて50万円ということでございまして、ここに交付金の残りを充てていきたいというわけでございます。

資料3の最初のページにお戻りいただいて、こうした内容で交付金の申請が上がってきている状況でございますので、委員の皆様ご協議をいただき、原案どおりお認めいただければ幸いです。ご協議をお願いいたします。

会長

ありがとうございました。ただ今事務局の方から協働のまちづくり交付金の説明と具体的な申請内容の説明等がありましたが、ご意見ご質問等ございましたらお願いいたします。

委員

この見直しで、現行の月・水・金の地区循環バスの運行に変更はあるのか。

事務局

現在の月・水・金の運行はそのままにして、空白となっている火曜

日か木曜日に新たな直行便を設けたらどうかと考えています。

そこへ交付金を充てることによって直行便の効果がはっきり出てくるのではないかと、市の企画課とも少し話をさせていただいているところでもあります。

委員 今まで暁野区からも、富県回りでは時間がかかり過ぎるので帰りはタクシーで帰ってくるといった意見があったので、ありがたい。

会長 六軒屋で乗車した人が、帰りは富県を循環して戻ってくるということで、先日の区長会でも不便だとの議論があったので、こうした直行便を検討したということです。

事務局 説明が少し洩れた部分があるので補足させていただきます。  
実はバス路線の見直しは他の地区でもされていて、新山線の関係では特に東春近の原新田、榛原を経由するルートの変更がされてきているということで、出来れば車屋から田原までのところを一本で結んで行きたいと考えます。また木裏原については西春近地区循環バスがございますので、今回は中心部、一番要望が高いと思われるところを試験的な運行をさせていただければと考えています。

会長 その他にご意見等はございますか。  
無ければ申請の2件、合計で142万円について承認いただける方は拍手でお願いしたいと思います。  
(拍手多数)

## (2) 今後の日程について

会長 では次に進めさせていただきます。  
今後の日程について、事務局から。

事務局 ただ今、申請2件をお認めいただきましたので、地域協議会として承認をするということで、地区協の方へお返しをし、事業実施に向けて、市とも調整をさせていただきたいと考えています。

また、それぞれの団体のところへ進行状況等につきましてはご報告をさせていただきたいと思います。

残りの交付金額が若干でございますので、改めて地域協議会の開催は今後無いと思いますので、ご承知願います。日程等につきましては以上でございます。

(3) その他

会長

こんな機会でありますので、委員の皆様から何かあればお願いいたします。

わたくしの方から一つ考えを述べさせていただきたいのですが、行政はやはり大きなものしか目が届かないということが現状だと思いますので、先ほど副市長が言われたように、小さなものを上に上げて大きなものにしていくということが地域協議会のスタンスだと思いますので、当地区におきましてお金に絡む問題点等がありましたら、ご意見をいただきまして、上に上げていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

何かご意見がございますか、委員の皆様宜しいですか。

8 その他

事務局

一点事務連絡をさせていただきます。

本日の資料の一番下に、カラー刷りの新市まちづくり計画の最新版ということでお配りをしてございます。市から配付があったもので、新しい委員さんへということでございますので、また内容をご一読いただければ幸いです。その他の関係事務局からは以上です。

9 閉会

会長

短時間のうちに内容の濃い議論をいただきありがとうございました。これを持ちまして、地域協議会を閉じたいと思ひます。ご苦勞様でした。

以上

本会議に会議録を作成し、会長及び会議録署名委員において下記のとおり署名する。

平成28年6月2日

平成28年度 第1回東春近地域協議会 会議録

会 長 飯島 誠一

会議録署名人 飯島 隆男

会議録署名人 竹松 武登